日本共産党市議団

２議席（増田浩二、市来利恵）

市民のみなさんの切実な願い実現に全力

中学校卒業まで医療費無料化

全国の過半数の市町村が、中学校卒業まで医療費の無料化を実施しています。

市内の理髪店で、「子どもが中耳炎で医者に行ったら1万円も窓口で払わなあかんかった。隣の市（紀の川市・小学校卒業まで通院・入院とも無料）は無料やのに何とかしてほしいわ」という会話がありました。

また学校検診で、医療機関の受診を指摘されても「受診しない」子どもが多数います。とくに歯科検診の場合の受診率は低い状況です。

国保税 一世帯 二万円の引下げ

高すぎる国保税。その原因は、国が交付金を一方的に引き下げ、加入者に負担増を求めたからです。

大阪府内では一般会計から繰り入れ、国保税額を抑え、低所得対策を実施。

岩出市は、税額を抑える対策を行わず、国保税が高くなっています。

安心して医療を受けられる保険制度へ、全世帯で1万円の国保税を引き下げ、減免制度の充実を提案します。

ゴミ有料化の見直しを

市は7月から、多くの市民の反対を無視して、ゴミ有料化を強行。ゴミの不法投棄がおこっています。

ゴミの問題は、市民と行政が協力して、減量・資源化をすすめる必要があります。

日本共産党は、３つの提案をします。

◆市の責任で、いま以上の分別・資源ゴミの回収を徹底。さらに「奨励金制度の充実」

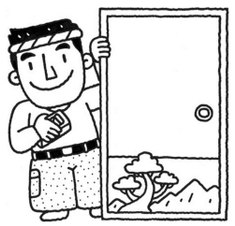
◆不法投棄ゴミは、市の責任で回収

◆ゴミの有料化の見直しを

住宅リフォーム助成制度の導入を

手軽な小規模工事ができる住宅リフォーム助成制度は、関連企業への経済波及効果が大きい。

景気悪化と円高で経営難が深刻化する中小企業・業者への「仕事おこし」で、岩出市の経済活性化を図ります。



お年寄りの、ふれあいセンターの設置を

１日を楽しく過ごせるふれあいセンターの設置をすすめます。

お年寄りが気軽に訪れ、介護予防や防災上でも役立つセンターにします。

市が、場所の提供と援助を行い、お年寄りの生きがいやコミニティづくりを提案します。

市長が、初めて第三中学校建設場所を示せと発言

中学校建設は強い要望です。

岩出市の両中学校は、県下で一番、二番の８００名を超える大規模校。国の適正規模（学級数）を超過しています。

今年の９月議会、日本共産党市議の質問に、市長は、「建てるべきだと言うがどの場所に建設するとか（提案がない）」と発言。

党議員は、「市行政が考えることだが、それなら市民と協議を」と、ただちに提案。もう一押しです。

議員定数削減（定数16）ではなく、議会の活性化を

公明党が「削減」案を表明。定数２削減の方向です。これでは、議員１人あたり３３００人となり、市民の声は届きにくくなります。

この４年間、議会活性化の「改革」はなく、議会に関わることでは議員報酬があげられました（日本共産党は反対）。